

# 2020年度研究大会

## 参加者数とアンケート結果

日本EU学会事務局

# 日本EU学会 参加人数一覧

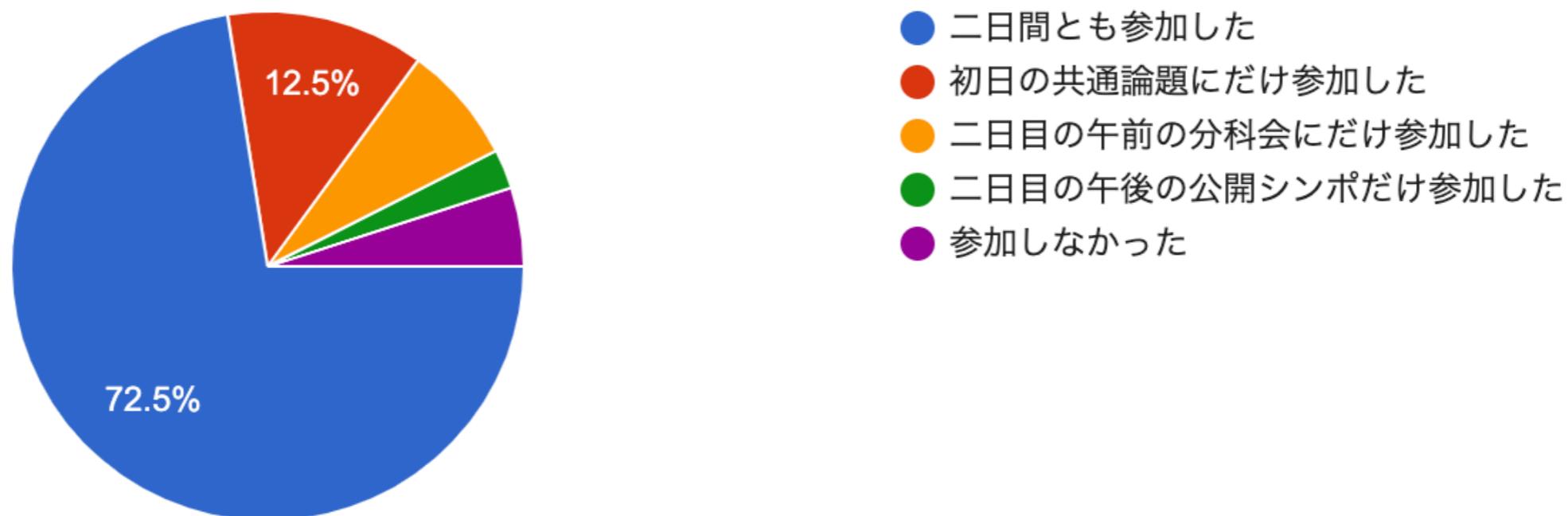
11月7日(土)	
データ集計	
総会	57
全体セッション	101
招待講演・全体	108
11月8日(日)	
データ集計	
日本とEU	30
政策統合	39
EUの現況	61
総会	44
公開セッション	94

共通論題 多極時代の EU と日本  
—世界における日欧 EPA/SPA の意義

公開シンポ 多極時代におけるユーロ  
—20年目の挑戦

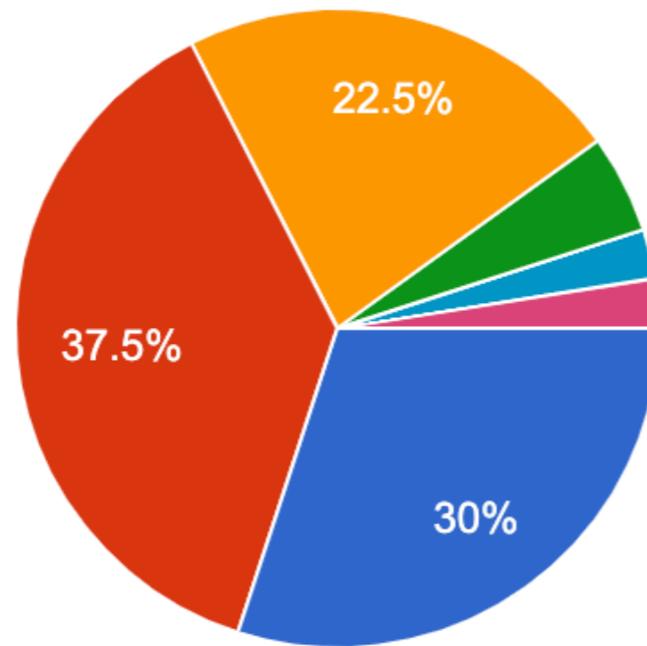
## オンライン大会への参加

40 件の回答



## オンライン開催について

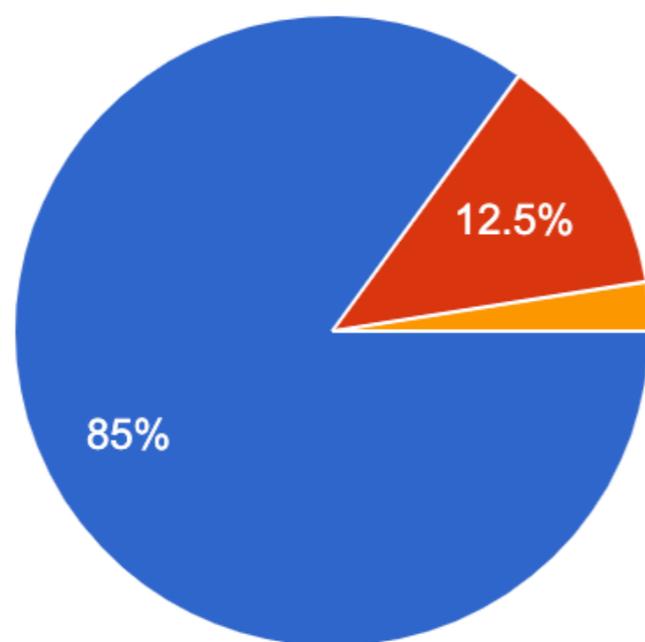
40 件の回答



- とても良い
- 良い
- どちらともいえない
- 良くない
- まったく良くない
- 対面で開催できない場合の代替手段としてはとても良い
- ログインできなかったため参加しませんでした

## 接続状況について

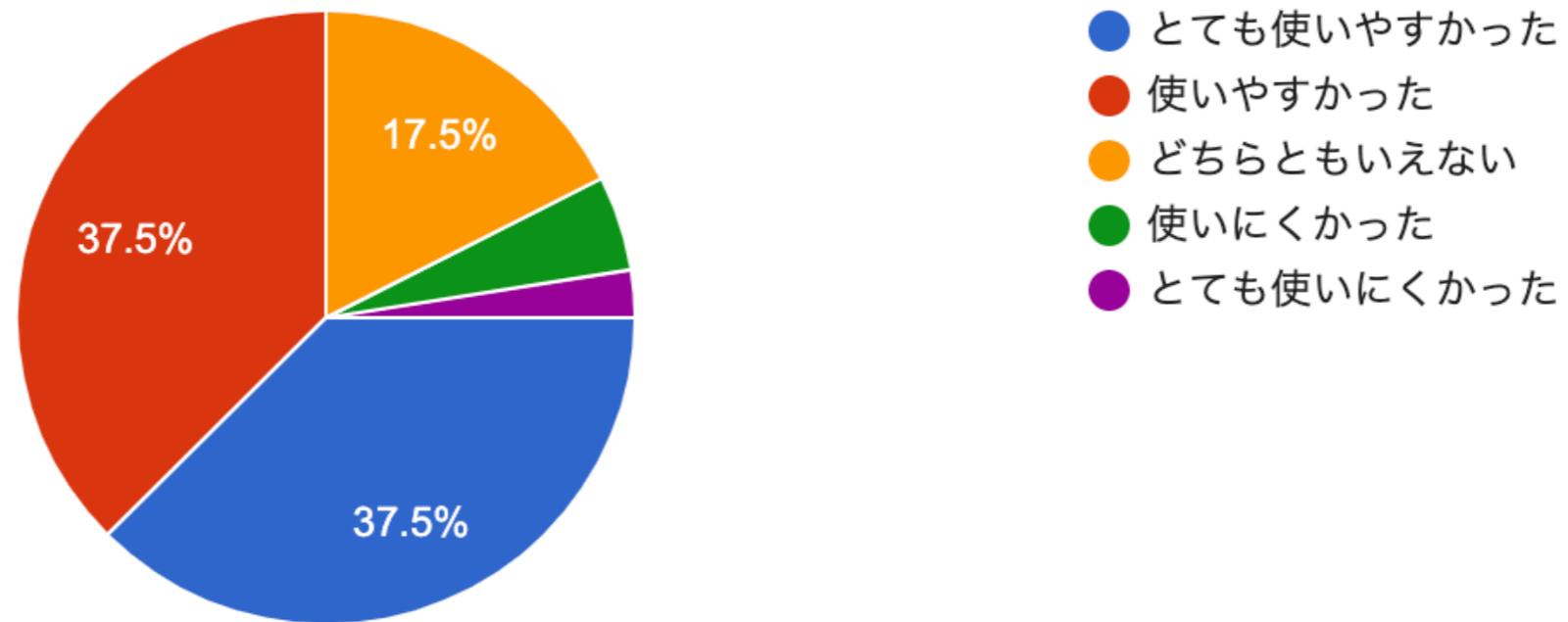
40 件の回答



- 接続に問題はなかった
- 接続に問題はあったが視聴はできた
- 接続に問題があり視聴できなかった

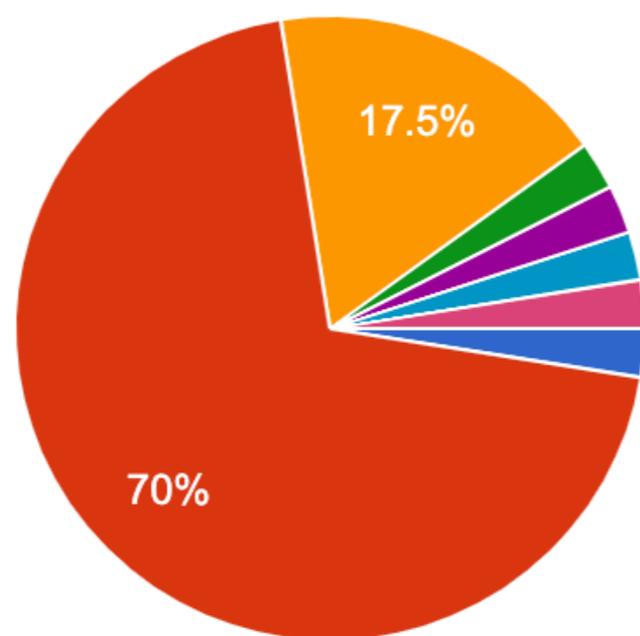
## パスワード付き専用Webサイトによる接続情報とフルペーパーの提供について

40 件の回答



## 今後の研究大会のあり方について

40 件の回答



- オンラインのみの開催が良い
- 現地開催とオンラインの併用が良い
- 現地開催のみが良い (オンライン利用なし)
- できれば現地開催がよいが、やむを得ない場合はオンラインのみの方がよい
- 基本的に現地開催が良いが、この度のような場合は、中止することなくオンラ...
- 研究大会は基本的には現地開催が良い...
- 新型コロナ次第かと思いますが、併用...

# オンライン大会で良かった点をあげてください 1

- 出張の必要がないため、研究大会に参加しやすかった。
- 遠隔地へ赴けない際、オンライン参加が選択肢に加わることは有意義であると思います。
- 移動時間の節約、資料が見やすい、感染リスクの低減
- 第一に安全であること、第二に普段業務等と重なり参加を諦めざるを得ないような日程でも、たとえ部分的にでも参加できたこと。
- 場所を問わずアクセスできる点はとてもよい。ただし報告をする側からすれば、会場の反応が分からず、話がしにくい面がある。なので、来日が難しい海外のゲストスピーカの報告をあらかじめ収録した動画で行うといったことでオンライン的要素を今後入れるのはいいと思うが、できるだけ対面開催をするのがいいと思う。
- 発表に集中できた
- コロナ下でも開催でき、報告を聞くことができた点。個人的には、他の学会や研究会と重なっていたが、すべてオンライン開催だったため、すべてに参加してそれぞれ興味のある報告を聞くことができたので、オンライン開催でよかった。
- 場所を問わず参加できる。
- 家で仕事を片付けながら、関心のあるテーマを選択して視聴できたこと。
- ①どこからでも参加可能、②移動・宿泊費なし、③文書でのQ&A（記録に残るため、後々確認できる）、④当日のスライド資料がオンライン上にアップロードされていたこと（当日の印刷部数の不足という問題がそもそも生じない）
- 移動時間が不要だったこと
- 海外にいる研究者・大学院生との議論がしやすいこと。

# オンライン大会で良かった点をあげてください 2

- 外国からの参加も、一見、問題なく可能なことがよくわかり大会開催の可能性を拡大したと思う。
- 会場に出向かなくても参加できた点
- 余り気にせずに入退室ができる。
- コロナでやむを得ず実施したわけですが、思っていた以上によかったとは思いますが、顔を合わせて話ができないし、終了後気のあった仲間とアルコールなど入れながら自由に討論することもできないわけで、理想化は禁物でしょう。
- 移動時間が節約できたこと
- 想像していたよりもクリアな音質と画質で満足した。議論も機能を使って活発にできたという印象だ。
- 出張の必要がなく、新型コロナウイルス感染リスクを避けられたこと。
- 海外にいながら参加することができたこと
- ハンドアウト資料が必ず入手できるところ。現地開催だとたまに不足することがある。
- 移動時間がなく、発表前の準備がしやすかった。遠方からでも簡単に参加できた。
- 報告資料を自身のPC上でリアルタイムで見られる点
- 地方の方が参加できる。体調の悪い方でも参加できる。
- 遠距離移動の手間や旅費が省けて大会報告の内容に集中できたこと。
- 現地に赴かなくても学会に参加可能なのは、視聴者と登壇者双方でメリットがあると思います。

# オンライン大会で改善すべき点を教えてください 1

- ・ オンライン大会としての完成度が高く、特に改善点は見当たらないが、懇親会等での人的交流の要素がないのは少し寂しく感じた。感染が早く収束すればと思う。オンライン大会開催に尽力された方々に、改めて感謝申し上げます。
- ・ 今後、現地開催とオンラインを併用していく新しい形の学会運営は有効であると思います。
- ・ 全体的に報告時間を15分から20分に短縮して、休憩を多く入れる方がいいと思う。（普通の大会的な時間割だと、オンラインは疲れる。）
- ・ 質問をその場で書き込むのは、意外と難しいと感じた。Onlineの場合、ペーパーを読んであらかじめ質問する内容を出しておいてもらう方がいいのでは？
- ・ 学会に参加している感覚があまりなかった。
- ・ 今回のやり方で特に問題はないと思います。
- ・ 質問がしづらい（特に若手にとって）
- ・ 他の多くの人との交流ができないのでオンラインでの開催には今後は参加しません。
- ・ オンラインとはいえ、時間厳守は必要かと存じます。
- ・ 一旦退出してから、再度参加する時に繋がりにくかった。
- ・ 特にございませぬ。非常に楽しく参加させていただきました。この場をお借りして、感謝申し上げます。
- ・ オンライン大会に限ってではないですが、フルペーパーやスライドを大会後も掲載しない人が毎回いて、そのまま放置なのはなぜかと思います。
- ・ 特になし。
- ・ 参加する側には大きな問題は感じられなかった。主催の責任者にはかなりの緊張を強いられることがあったかもしれないと想像する。
- ・ 勤務先にしばらく出向できなかったため、パスワード入手に戸惑いました。自宅宛にお願いするなど方法を考えていただければと思います。

# オンライン大会で改善すべき点を教えてください 2

- ログインの問題に関するメッセージが遅れました
- 音声の一部聞き取りにくかった。Q&Aなどのコミュニケーションは音声の時差もあり、やや難がある。
- 海外の研究者も同時参加できると思います。英語セッションを増やして、よびかけてはいかがでしょうか。
- 報告者だったけどパワポ資料を自分で操作できずオンライン管理者に頼んで「次、・・・次」という感じでした。そこの説明は事前になかったように思いました。Zoomの使い方について説明不足だったかも。もっともこれは4人の報告者のうち小生のみでした。他の報告者はネット授業で慣れていらっしやっただけなのでしょう。だから小生のみ反省材料かもしれません。
- 懇親会をどうするか検討する必要がある。
- 主催者側の問題ではないと思いますが、接続が不安定になり音声・画像が途切れてしまうことがありました。
- サーバーの事情？で特設サイトへのアクセスができなかったこと
- マイクの質が悪いのか、マイクの装着方法が悪いのか、お一人、声がほとんど聞こえない方がいた。他の発表者の声はすべてしっかり聞こえたので、私のパソコンやネット環境の問題ではなく、当該発表者の方の音声の問題だと思う。資料を見て何とかついて行ったが、声がほとんど聞こえない発表を聞かされるのは苦痛だった。発表者の方にマイクテストを念入りにやってもらった方が良い気がする。
- オンラインの懇親会、希望する参加者も含めた少人数での発表後の懇談の場があれば、発表のフィードバックやネットワーク作りの点でよかった。
- 質疑応答(討論)の際に報告資料を同時に参照しにくい点
- オンライン懇親会や、会合の後、現場で交流するような、交流の場を10-15分くらい設けると、一方通行が解消されるのではと考えました。
- フルペーパーと当日レジメのPWは、ダウンロードページへのアクセス時またはファイルのダウンロード時に1度だけ入力するようにしておけば、それで十分なように思いました。
- 報告者側は視聴者の顔を把握できないので聞く側がどれほど理解しているのかが分からずこの点が気になりました。